

たんちょう通信

～ 第 87 号 ～



丹羽 孝直

こんにちは、丹頂ガスの丹羽です。いつも「たんちょう通信」をお読みくださり、誠にありがとうございます。私が所属する「青年塾」では、現地現場での一次体験が大切な教えであり、学びであると常日頃から塾長より教えられています。9月に受講した講座は、元越前市長であり、我々「東海

クラス」の指導員である「奈良俊幸さん」とのご縁により福井県越前市とお隣の鯖江市で開かれました。越前市は昔からモノづくりが盛んな街で、「和紙」「打刃物」「指物」の伝統工芸が有名で、鯖江市は「眼鏡の生産」が世界的に有名です。ちなみに、福井県は県民幸福度全国1位になったことがあり、小中学生の学力もいつも上位に入っており、とても優れた県民です。そのことを奈良さんに聞くと「ここは遊ぶところがあまりなくて、冬は雪が積もり、生活環境が厳しいところが、かえっていいのかな。」と仰っておられました。今回の研修2日目は「和紙の里」にある工芸館で、和紙作りの人間国宝、「岩野市兵衛さん」のお話を聞かせて頂きました。現在、岩野さんは89歳です。岩野家に伝わる伝統的な製法で、今も和紙作りをされています。岩野さんの和紙作りの秘訣として、先ずおっしゃられた言葉は、「手抜きをしないこと」です。和紙は白くてぼってりと厚くて四角形で柔らかいのが良い。着色は一切していない。冬の厳しい寒さの中、一生懸命水洗いをして、どんな小さいゴミも見落とさず、手間暇掛けて白くする。それが、最高級の和紙である。また、いい紙を作ろうと「欲を持ち過ぎる」とむしろダメになる。そして、他所の工房が効率よく作業をやっているので「うちも真似ようとするのもダメ。」うちにはうちのやり方がある。代々受け継いできた製法を愚直に守り、質の高い紙を作り続けることで、使う側からもとても高い評価がされています。いい紙は筆の走りが良く、そして破れない。紙をぐちゃぐちゃにしても破れず、むしろ肌触りが良くなり柔らかくなると教えて頂きました。日本画巨匠の「横山大観」もこよなく愛されていました。現在、岩野さんが作る紙は国内需要だけにとどまらず、世界からも受注があります。パリの「ルーブル美術館」の絵画の補修用にも使われているそうです。コロナ禍で和紙の需要が減って、他の工房が暇をしていた中、岩野さんのところへは、注文が途切れず、毎日忙しく和紙作りをされていました。しかし、どれだけ忙しくても、「手間を省く作業」は一切されないということです。職種も違いモノ作りもしませんが、弊社はお客様へ「良いサービス」を提供することが仕事です。「手抜きのサービス」をせず、「欲を持ちすぎず」、先代から大切にしてきた「お客様に寄り添う」姿勢で「お客様を大切にすること」を守っていかねばならないと改めて感じました。これを会社へ持ち帰って取り組んでいきたいです。引き続きどうぞ宜しくお願い致します。

感謝





たんちょう隊の公式LINEはこちら!



住まいのちょっとしたお困りごとの解決方法をお知らせしています。



公式Instagramはこちら!

たんちょう隊の活動や、日常の様子も投稿しています。フォローお願いします!



はらぐち みき
原口 未来

皆様こんにちは。入社2年目の原口 未来です。

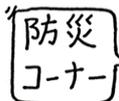


私には、3歳年上の姉がいます。姉は四日市で保育士をしています。今年の4月から姉は一人暮らしを始めたので、今は別々に暮らしています。姉とは、好きな映画のジャンルが似ていて、「この映画面白かったよ」とオススメし合うこともあります。

例え、姉が興味を持っていない私の趣味でも、急な言葉であっても、気を遣わず誘って一緒に付き合ってくれる姉の存在が、とてもありがたいです。

先月、私が昼寝をしていた時に、急に姉から「今から映画観に行こう」と電話がかかってきました。私は起きたばかりで、乗り気になれず断ってしまいました。しかし、いつも私の趣味に付き合ってくれている姉のことを考えると申し訳なくなり、「さっきはごめん。お姉ちゃん、やっぱり一緒に行こう」と電話をかけ直しました。その映画は8月下旬から上映が始まった「アキラとあきら」という邦画で、とても面白くて、行って良かったなと思いました。幼い頃から一緒に過ごしている姉とは、いつも楽しい時間が過ぎせます。

今度は、姉が昔から誘ってくれている「京都巡り」に2人で行くことを楽しみにしています。



浸水被害や崖崩れ、土石流、地滑りなどの土砂災害の危険性

水の力はとても強く、大雨による浸水被害が起こった場合、人や車は簡単に押し流されてしまいます。水深と流速の変化によって、体に僅か「水の力」は大きくなり、場合によっては「命に関わる事態」を招くこともあります。

大人のカでもかなわない 本当に怖い水の力!

マンホールや道路の側溝からあふれ出た水の力には、想像を上回る危険性があります。たとえ水深が浅くても、水の流れが速ければ流されるため、注意が必要です。特に、人は前からの流れに逆らってふんばることはできても、後ろからの流れには足をすくわれやすくなります。そうなる前に、安全な場所に早期避難を!



水深が50cmを超えるとドアは開かない!

地下室、地下駐車場、地下街など地下空間での浸水は特に危険です。地下室のドアは外開きになっていることが多く、流れ込んだ水がドア前にたまると、ドアに水圧がかかり、開けることができません。

台風や大雨が予想される場合、「気象情報」「注意報」「警報」などの防災気象情報を有効に活用し、早め早めの防災行動をとるようにしましょう!